

薬物生理学研究室
Pharmaceutical Physiology
生物物理化学
Biophysical Chemistry

教授	酒井 秀紀	Hideki Sakai
准教授	清水 貴浩	Takahiro Shimizu
助教	藤井 拓人	Takuto Fujii

◆ **原著**

- 1) Shibuya K., Fukuoka J., Fujii T., Shimoda E., Shimizu T., Sakai H., and Tsukada K. : Increase in ouabain-sensitive K^+ -ATPase activity in hepatocellular carcinoma by overexpression of Na^+,K^+ -ATPase $\alpha 3$ -isoform. *Eur. J. Pharmacol.*, 638: 42-46, 2010.
- 2) Fujii T., Fujita K., Shimizu T., Takeguchi N., and Sakai H. : The NH_2 -terminus of K^+-Cl^- cotransporter 3a is essential for up-regulation of Na^+,K^+ -ATPase activity. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 399: 683-687, 2010.
- 3) Shimizu T. : A new player in apoptosis triggered with anti-cancer drugs: the volume-sensitive outwardly-rectifying Cl^- channel. *Cancer Biol. Ther.*, 9: 1-3, 2010.

◆ **学会報告**

- 1) 清水貴浩, 樋口大河, 藤井拓人, Bernd Nilius, 酒井秀紀 : TRPP3 チャネルのアルカリによる活性化. 日本薬学会第 130 年会, 2010, 3, 28-30, 岡山.
- 2) 藤井拓人, 渋谷和人, 清水貴浩, 塚田一博, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : 肝細胞におけるウアバイン非感受性 Na^+ -ATPase の分子生理. 日本薬学会第 130 年会, 2010, 3, 28-30, 岡山.
- 3) 藤田恭輔*, 藤井拓人, 家原貴大, 清水貴浩, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : K-Cl 共輸送体によるイオンポンプ活性調節機構におけるコレステロールの役割. 日本薬学会第 130 年会, 2010, 3, 28-30, 岡山.
- 4) 清水貴浩, 佐藤かお里, 家原貴大, 藤井拓人, 酒井秀紀, 岡田泰伸 : TMEM16 クロライドチャネルファミリーの機能解析. 第 87 回日本生理学会大会 シンポジウム「 Cl^- 輸送タンパク質による多彩な生理機能のレギュレーション」, 2010, 5, 19-21, 盛岡.
- 5) 藤井拓人, 渋谷和人, 下田恵理, 清水貴浩, 竹口紀晃, 塚田一博, 酒井秀紀 : ヒト肝細胞におけるウアバイン非感受性 Na^+ -ATPase 活性の特性. 第 87 回日本生理学会大会, 2010, 5, 19-21, 盛岡.
- 6) 藤田恭輔*, 清水貴浩, 藤井拓人, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : 非酵素的に単離したマウス胃腺の酸分泌細胞における塩素イオンの膜電位に対する役割. 第 87 回日本生理学会大会, 2010, 5, 19-21, 盛岡.
- 7) 清水貴浩, 樋口大河, 藤井拓人, Bernd Nilius, 酒井秀紀 : TRPP3 チャネルのアルカリ感受性. 第 57 回中部日本生理学会大会, 2010, 10, 15-16, 豊明.
- 8) 藤井拓人, 皆川拓磨, 清水貴浩, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : 肝細胞における $ecto$ -ATPase 活性に対するクルクミンの効果. 第 57 回中部日本生理学会, 2010, 10, 15-16, 豊明.
- 9) 清水貴浩, 家原貴大, 藤井拓人, 竹口紀晃, 岡田泰伸, 酒井秀紀 : TMEM16F の電気生理学的性質. 生理研研究会「極性細胞の病態生理解明に向けた多角的アプローチ」, 2010, 11, 4-5, 岡崎.
- 10) 藤井拓人, 皆川拓磨, 清水貴浩, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : 肝がん細胞の細胞外 ATP 分解能に対するクルクミンの効果. 生理研研究会「極性細胞の病態生理機能解明に向けた多角的アプローチ」, 2010, 11, 4-5, 岡崎.
- 11) 家原貴大*, 藤田恭輔, 藤井拓人, 清水貴浩, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : 胃酸分泌細胞アピカル膜における H^+,K^+ -ATPase と $KCC4$ の分布と機能. 日本薬学会北陸支部第 122 回例会, 2010, 11, 21, 金沢. (大学院優秀発表賞)
- 12) 酒井秀紀, 藤田恭輔, 家原貴大, 藤井拓人, 清水貴浩, 竹口紀晃 : 胃プロトンポンプと K^+-Cl^- 共輸送体のラフトを介した機能連関. 第 32 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2010, 11, 29-30, 富山.
- 13) 高橋裕太*, 清水貴浩, 藤井拓人, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : トロンボキサン A_2 によるヒト大腸がん細胞 $Kv7.1 K^+$ チャネルのアップレギュレーション. 第 32 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2010, 11, 29-30, 富山.
- 14) 辻比呂嗣*, 藤井拓人, 清水貴浩, 竹口紀晃, 酒井秀紀 : ヒト胃粘膜における分子シャペロン ERp57 の発現解析. 第 32 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2010, 11, 29-30, 富山.

- 15) 藤田恭輔*, 清水貴浩, 二谷章大, 藤井拓人, 竹口紀晃, 酒井秀紀: マウス胃酸分泌細胞に発現する SLC26 Cl⁻チャネルの電気生理学的性質. 第 32 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2010, 11, 29-30, 富山.
- 16) 家原貴大*, 清水貴浩, 藤井拓人, 藤田恭輔, 竹口紀晃, 酒井秀紀: 新規 Cl⁻チャネルファミリーに属する TMEM16F の細胞内 Ca²⁺感受性. 第 32 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2010, 11, 29-30, 富山.
- 17) 下田恵理*, 藤井拓人, 渋谷和人, 清水貴浩, 塚田一博, 竹口紀晃, 酒井秀紀: 肝細胞がんにおける Na⁺,K⁺-ATPase α 3 アイソフォームの活性増大. 第 32 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2010, 11, 29-30, 富山.

◆ その他

- 1) 酒井秀紀, 鍋倉淳一: 企画・オーガナイザー, 第 87 回日本生理学会大会 シンポジウム「Cl⁻輸送タンパク質による多彩な生理機能のレギュレーション», 2010, 5, 19-21, 盛岡.
- 2) 酒井秀紀: 創薬を目指す若手研究者へのメッセージ: 消化管イオン輸送の基礎研究と創薬へのアプローチ (特別講演). 慶應義塾大学 医学・薬学合同サマースクール, 2010, 7, 30, 東京.
- 3) 酒井秀紀: 胃酸分泌細胞のポンプとトランスポーター. 慶應義塾大学医学部第 20 回薬理学教室セミナー, 2010, 7, 30, 東京.
- 4) 酒井秀紀: 提案代表者, 生理研研究会「極性細胞の病態生理解明に向けた多角的アプローチ», 2010, 11, 4-5, 岡崎.